

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

山形県鶴岡市

2022年8月

**SDGs未来都市計画名**

自治体SDGsモデル事業  
又は特に注力する先導的取組

鶴岡市 SDGs 未来都市計画

森・食・農の文化と先端生命科学が共生する“いのち輝く、創造と伝統のまち 鶴岡”

—

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

鶴岡市 SDGs 未来都市計画 森・食・農の文化と先端生命科学が共生する“いのち輝く、創造と伝統のまち 鶴岡”

## (2) 2030年のあるべき姿

森・食・農・先端生命科学の「いのち」を素材とした地域資源が、Society5.0 や未来技術等を介して産業経済の自律的好循環を生む。市民が幸せと思える豊かさを追求し、暮らしやすさを実感できる「いのち輝く創造と伝統のまち」を目指す。

- ① LOCAL-HUB 高い生産性と自立・循環的な経済を有する都市拠点
- ② Well-being Community 市民が将来にわたって健康で安心し生きがいの持てる豊かな地域
- ③ Regional-CES 豊かな森里川海の活用、資源循環型社会の形成

## (3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



## (4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	農業産出額【2.3】	2016年 307 億円	2021年	307 億円	2028年	400 億円	0%
2	観光入込客数【8.9】	2017年 3月末 631 万人	2021年	337 万人	2028年	790 万人	-185%
3	高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を本市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）【9.4、9.5】	2018年 3月 5 社	2021年	5 社	2028年	9 社	0%
4	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合【4.1】	2017年 78 %	2021年	79.6 %	2028年	84 %	27%
5	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合【4.1】 ・他者との協働や共生について考えている子ども	2017年 43 %	2021年	調査項目変更により調査未実施 %	2028年	57 %	0%
6	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合【4.1】 ・学んだことを日常に生かそうとする子ども	2017年 82 %	2021年	調査項目変更により調査未実施 %	2028年	87 %	0%
7	子育てのしやすさに対する満足度「子育てしやすい」と思う保護者の割合【3.2、4.2】	2019年 27.6 %	2021年	R3年度調査未実施 %	2028年	50.8 %	0%
8	学校給食に対する満足度「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合【2.1、4.7】 ・小学生	2013年 ~2014年 75.2 %	2013年 ~2014年	77.9 %	2028年	80.2 %	54%
9	学校給食に対する満足度「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合【2.1、4.7】 ・中学生	2013年 ~2014年 55.3 %	2013年 ~2014年	67.5 %	2028年	64.2 %	137%
10	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・胃がん検診受診率	2017年 32.7 %	2021年	29.7 %	2028年	36.6 %	-77%

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）	2030年（目標値）	達成度 （%）
11	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・大腸がん検診受診率	2017年 38.9 %	2021年 37.9 %	2028年 41.2 %	-43%
12	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・肺がん検診受診率	2017年 41.1 %	2021年 39.4 %	2028年 43.9 %	-61%
13	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・乳がん検診受診率	2017年 23.7 %	2021年 20.4 %	2028年 24.7 %	-330%
14	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・子宮がん検診受診率	2017年 32.6 %	2021年 30.4 %	2028年 35.0 %	-92%
15	エネルギー自給率【7.2、7.3】	2019年 3月 29.5 %	2021年 31.4 %	2028年 34.0 %	42%
16	温室効果ガスの削減（2015年の 温室効果ガス排出量を基準とした 削減率）【13.1、13.2】	2017年 3月 ※2019年 度統計改定後の算定 方法値 913.2 kt-co2	2019年 ※2019年度統計改 定後の算定方法値 861.2 kt-co2	2028年※ 2018年度統計改定 後の算定方法値 863.1 kt-co2	105%

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況のうち、No.1農業産出額【2.3】については、国内需要が減少している米から土地利用型作物（大豆など）や高収益作物への生産転換を進めていくとともに、園芸品目の作付拡大・生産性向上に向けた施策を推進し、産出額の増加を図っていく。

No.2観光入込客数【8.9】については、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、前年に比べコロナ対策は進んだものの、県境を越える往來の自粛などが続き、当初値を下回った。引き続きポストコロナの観光振興に向けて、リモートワークやワーケーション・マイクロツーリズム等の新たな旅のスタイルを促進するとともに、教育旅行等の誘致を行い、観光客数の増加を図っていく。

No.3高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を本市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）【9.4、9.5】については、新たなベンチャー企業が2社誕生しており、創業開始間もなく従業員が少ないことから、従業員の増加につながるよう創業支援の補助などにより、企業活動の安定化に向けた支援を図っていく。

No.10～14がん検診受診率【3.7、3.8】については、以前として新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、受診率が低下した。ワクチン接種の推進と感染予防対策の継続により、健診受診率を高めていく。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	高等教育研究機関、ベンチャー等の集積を生かした自律的好循環による産業経済の発展に向けた取組	高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を本市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）	2018年3月 5社	2020年 5社	2021年 5社		2022年 6社	0%
2	豊かな森里川海の資源を生かした観光・食・農林漁業のブランド化と活性化に向けた取組	観光入込客数	2017年3月末 631万人	2020年 601万人	2021年 337万人		2022年 760万人	-228%
3	デジタル化・Society5.0の活用によるヘルスケアなど市民の生活環境の向上に向けた取組	・胃がん検診受診率	2017年 32.7%	2020年 27.5%	2021年 29.7%		2022年 34.0%	-231%
4	デジタル化・Society5.0の活用によるヘルスケアなど市民の生活環境の向上に向けた取組	・大腸がん検診受診率	2017年 38.9%	2020年 35.1%	2021年 37.9%		2022年 40.3%	-71%
5	デジタル化・Society5.0の活用によるヘルスケアなど市民の生活環境の向上に向けた取組	・肺がん検診受診率	2017年 41.1%	2020年 36.5%	2021年 39.4%		2022年 42.8%	-100%
6	デジタル化・Society5.0の活用によるヘルスケアなど市民の生活環境の向上に向けた取組	・乳がん検診受診率	2017年 23.7%	2020年 20.9%	2021年 20.4%		2022年 24.3%	-550%
7	デジタル化・Society5.0の活用によるヘルスケアなど市民の生活環境の向上に向けた取組	・子宮がん検診受診率	2017年 32.6%	2020年 30.4%	2021年 30.4%		2022年 34.0%	-157%
8	鶴岡型ESDの構築とユネスコ創造都市ネットワークの活用に向けた取組	学校給食に対する満足度「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合 ・小学生	2013年～2014年 75.2%	2013年～2014年 75.2%	2021年 77.9%		2022年 77.0%	150%
9	鶴岡型ESDの構築とユネスコ創造都市ネットワークの活用に向けた取組	学校給食に対する満足度「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合 ・中学生	2013年～2014年 55.3%	2013年～2014年 55.3%	2021年 67.5%		2022年 58.0%	452%

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
10	歴史と伝統を学びながら新たな時代にも対応する学校教育の推進に向けた取組	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合 ・自己肯定感を感じている子ども	2017年 78 %	2020年 調査未実施	2021年 79.6 %		2022年 80 %	80%
11	歴史と伝統を学びながら新たな時代にも対応する学校教育の推進に向けた取組	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合 ・他者との協働や共生について考えている子ども	2017年 43 %	2020年 調査未実施	2021年 調査項目変更により %		2022年 55 %	0%
12	歴史と伝統を学びながら新たな時代にも対応する学校教育の推進に向けた取組	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合 ・学んだことを日常に生かそうとする子ども	2017年 82 %	2020年 調査未実施	2021年 調査項目変更により %		2022年 83 %	0%
13	子どもを産み育てやすい環境の充実にに向けた取組	子育てのしやすさに対する満足度「子育てしやすい」と思う保護者の割合	2019年 27.6 %	2020年 調査未実施 %	2021年 調査未実施 %		2022年 34.8 %	0%
14	再生可能エネルギーなどの活用による市民・企業の低炭素化に向けた取組の展開	エネルギー自給率	2018年 3月 29.4 %	2020年 29.5 %	2021年 31.4 %		2022年 31.7 %	87%
15	豊かな地域資源の保全・活性化による災害にも強い地域循環共生圏の構築に向けた取組	温室効果ガスの削減（2015年の温室効果ガス排出量を基準とした削減量）	2017年 3月 913.2 kt-co2 <small>※2019年度統計改定後の算定方法値</small>	2020年 集計中 kt-co2	2021年 集計中 kt-co2		2022年 927.4 kt-co2 <small>※2019年度統計改定後の算定方法値</small>	105%

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

SDGsの「宣言」、「登録」制度を創設し、SDGsの推進に取り組む地域の企業、NPO、団体、教育機関を「つるおかSDGs推進パートナー」としての登録を進めた。パートナーには登録証、市公式ロゴマークのステッカーを贈呈するとともに、市ホームページで取組内容等を紹介し、SDGs達成に向けた取組の見え方を進め、市民、幅広い市内企業・団体等、SDGs達成に取り組む主体のすそ野の拡大を図った。令和3年度末において53団体を登録している。

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

経済面（LOCAL-HUB）では、No.1高等教育研究機関、ベンチャー等の集積を生かした自律的好循環による産業経済の発展に向けた取組に関連して、鶴岡サイエンスパーク内で新たなベンチャー企業が2社誕生しているものの、創業開始間もないために従業員が少ないことから、従業員の増加につながるような企業活動の安定化に向けた支援を図っていく。

社会面（Well-being Community）では、No.3～7のがん検診受診率で新型コロナウイルス感染症の影響により「がん検診」等の受診控えが生じたことや人間ドックが中止になったところがあったことが影響し、受診率が減少した。また、市立荘内病院と国立がん研究センター東病院との医療連携協定に基づき、荘内病院内に「がん相談外来」を開設。併せて遠隔診療に関するシステムを導入し、運用に向けた検討を進めた。

環境面（Regional-CES）では、No.14再生可能エネルギーなどの活用による市民・企業の低炭素化に向けた取組の展開及びNo.15豊かな地域資源の保全・活性化による災害にも強い地域循環共生圏の構築に向けた取組に関連して、令和3年度末において太陽光発電設備整備予定の防災拠点施設24施設のうち21施設の整備を行い、平時に発電した電力活用により施設の消費電力と二酸化炭素の排出の削減に寄与している。令和元年度に整備した1施設においては、約6t-CO2/年の排出量削減効果があった。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

## （4）有識者からの取組に対する評価

・農業生産額の増加に向け、米からの転換は重要であるが、多くの地域で取り組まれている方向性であることも踏まえて検討する必要がある。例えば、特色ある産品への特化について、既存農家の取組を踏まえた地域全体の産品の収量アップや、品質向上に資する取組を併せて実施することも一案であると思料する。